

異文化・多文化の相互理解を深め、  
グローバルヘルスへの貢献や国際・  
地域社会の安定を目指す事業



# 宮城県理学療法士会での取り組みをのぞいてみましょう!



今回取り上げた活動の詳細や、埼玉県理学療法士会・東京都理学療法士協会・大阪府理学療法士会の事例紹介を会員限定コンテンツに掲載しています。

会員限定コンテンツ 協会運営・資料一覧 資料一覧 **グローバル社会における理学療法士の活躍に資する事例紹介**

<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/login>

## BACKGROUND —きっかけ—

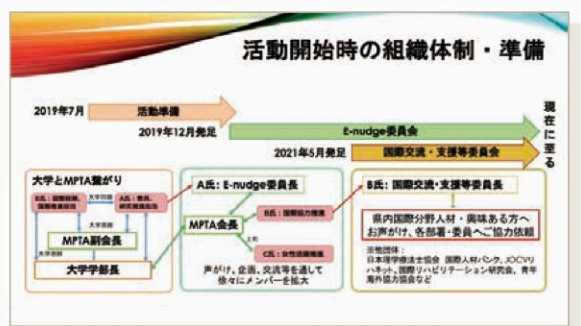
2019年に若手理学療法士活躍推進（現E-nudge）委員会が常設委員会として発足し、若手理学療法士の協力を募り、研究推進・女性活躍推進・国際協力推進のために開始されました。その後、当委員会が中心となってJICA海外協力隊経験者や海外・外国人支援経験者による国際交流・支援活動がはじまりました。今後、さらに外国人技能実習生・観光客・グローバル人材など対応する外国人の増加に伴い、理学療法診療や患者受入れ環境の整備、介護職に関わる方や外国人の方々との協働・共生が必要となってきていることが背景としてあります。



## PRESENTATION —具体的な取り組み—

「国際交流のミリョクと語学のキホン」をテーマに研修を開催しました。主催は宮城県理学療法士会国際交流・支援等委員会、共催は国際リハビリテーション研究会、後援は（公財）宮城県国際化協会にお願いし、講師派遣にも協力いただきました。国際交流の意義、異文化理解やコミュニケーションの重要性などを学ぶことができ、また、このように他団体との協調と連携により地域の特色を学ぶ取り組みも行っています。

国内はもとより世界から、理学療法（士）における国際分野の需要と職能活動や社会貢献活動への期待が高まっています。それには、他団体との協調と連携により、国際交流をはじめ、外国人患者における支援活動を促進していく必要があります。活動を通して相互理解を深め、グローバルヘルスへの貢献、そして国際・地域社会の安定に繋げることが期待されています。



- 本事業の活動方針で大事にしていること
- ① 海外理学療法士や外国人との国際交流
  - ② 在日・在留外国人や外国人材への支援
  - ③ 多様化する社会への柔軟な対応

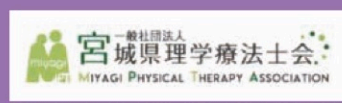
## VISION —今後の展望—

地域における国際団体や他都道府県理学療法士会と連携した研修・共同企画の開催により、繋がりがさらに広がり、シナジー効果を発揮していけると考えています。他にも、介護・福祉現場での外国人労働者との共同事業（トランスファー指導や腰痛予防）など、多様なニーズに応えられる活動を継続し、士会事業としてのグローバルヘルスを目指していきます。



## MESSAGE 宮城県理学療法士会より

ワクワクするような新しい企画を開催し、多くの会員や興味を持つ他職種とも繋がることができています。それが地域活動や国際貢献にも関わっていく一歩となりますので、ぜひ興味がありましたら所属士会や当会にもご参加いただき、ともに活動していきましょう!



宮城県理学療法士会HP  
<https://pt-miyagi.org/>